コンカフェの開業計画書

お店の考え方・お客様・営業の形

架空の店「月明かり郵便室」の記入例です。実在の店舗・価格ではなく、営業の可否を示すものでもありません。

1｜創業の動機と届けたい体験

項目	記入例
なぜ始めるか	仕事帰りに一人でも立ち寄れ、短い手紙を書いて気持ちを切り替えられる店をつくる。
誰に届けるか	近隣で働く一人客と、日常とは違う約1時間を楽しみたい友人同士。平日夕方の人通りと予約反応を確認。
活かす経験・補う経験	架空の店主は喫茶勤務で配膳と発注を経験。仕込み・衛生記録は手順をそろえ、店主と補助担当で練習。

2｜メニュー・価格・選ばれる理由

商品・内容	販売価格の仮定
今夜の観測便：ソーダ、小さなレモンタルト、月替わりの便箋。席料込み。	1,650円
追加の星図カード／星形サブレ。追加は希望者のみ。	250円／350円
客が自分で観測印を押し、手紙は持ち帰る。店は手紙を預からない。	通常売上の試算は基本セットのみ

3｜席・枠・営業時間・人員

項目	運営の仮定
営業日・席数	月20日、18〜21時。12席のうち初期の受付は1枠8人まで。酒類・深夜営業・館外販売は行わない。
予約と受け入れ	18時と19時の2枠。各50分＋入替10分。計16人／日が仮の上限、売上計画は平均13人／日。
1人目：店主	案内・注文・会計・客席。スタンプは客自身。特定の席に付き続けるサービスは通常案に含めない。
2人目：補助	17〜21時、飲食提供と閉店前の片付けを担当。店主が閉店後の作業を担う。採用・法定費用は別に確認。

4｜始める前に確認すること

確認すること	判断の材料
集客と提供能力	予定曜日の通行と競合を観察。事前予約の反応を見て、客を入れない練習で8セットを回せるか測る。
満席にしない判断	配膳や片付けが回らない場合は1枠の受付数・品数を減らす。満席の16人は毎日の販売予測に使わない。

コンカフェの開業計画書

開業費・調達と一人あたりの支出を見積もる

架空のモデルです。価格、発注単位、支払日、資金は見積りと調査から置き換えます。

1｜開業前に必要な資金と調達

項目	金額と確認すること
契約・内装・設備・初回仕入	保証金等90＋工事220＋設備80＋初回仕入・告知40＝430万円。見積りと支払日で確認。
遅延予備・営業開始時の手元	前払家賃と重ならない2か月分の遅延用65×2＝130万円。さらに開店時の営業予備45万円。
合計と調達予定	605万円。自己資金415万円＋借入希望190万円。未決定の借入は実際の現預金に足さない。

2｜一人あたりの収入・仕入と在庫

項目	仮の金額・確認
平均会計・変動費	1,650円。食材420円＋便箋など100円＋決済費55円＋廃棄見込み75円＝650円／人。
一人から残る金額	1,650−650＝1,000円。固定費・借入返済を引く前。追加メニューの売上と費用は別計画。
仕入れの管理	予約数を見てソーダ材料・菓子を発注。納品日・支払日・残量・廃棄を記録し、使い切れる量で補充。

コンカフェの開業計画書

月の売上と返済後の残高を確かめる

返済を含めて事業用の現金の動きを見ます。税や生活費等を入れる範囲は、各試算の注記を確認してください。

3｜月20日：通常月と売上が下がった月

項目	通常：13人／日	下振れ：9人／日
客数・売上	260人／42.9万円	180人／29.7万円
変動費・差引	16.9万円／26.0万円	11.7万円／18.0万円
固定費・返済前の差引	20.5万円／＋5.5万円	20.5万円／−2.5万円
返済3.5万円後の増減	＋2.0万円	−6.0万円
開店時45万円から月末残高	47万円	39万円

固定費の内訳：家賃6.5、補助人件費11.2、光熱1.5、告知0.8、その他0.5万円。返済は元金3.2＋利息0.3万円と仮置き。店主の生活費・税は別。入出金が同月の簡易計算で、融資・返済条件は未確定。

4｜日付で資金を確かめる

確認する日	判断
契約・工事→入金予定→月末	着金前に払う契約金と工事費、カード売上の入金日、仕入・返済日を並べる。
見直す境目	先の月の資金残高が30万円を割る見込みなら、追加発注・企画を止め工事・家賃・営業日を見直す。

コンカフェの開業計画書

許可・準備日程・追加枠を始める条件

契約や告知より先に、営業の実態、所轄の回答、支払った後の残高を照らし合わせます。日程は例で、全国共通の処理期間ではありません。

1｜契約前に、同じ営業計画と図面を見せる

相談先	持参するもの・確認事項
食品衛生の窓口	メニュー、調理・保管の流れ、厨房・手洗いの図面。営業許可、施設基準、食品衛生責任者、検査、衛生管理。
所轄警察署	営業時間、席の接客・照明・区画、企画時の役割。接待・低照度・区画や深夜の酒類提供・遊興の該当性。
貸主／建築・消防	契約用途、音響と照明の変更、工事承諾、建物用途・避難経路。窓口ごとの回答日・未回答を記録。

2｜逆算して記録する日

目安・区切り	次に進む前に終えること
開店約60日前・契約前	図面相談、営業の区分、工事見積りと資金。未回答のまま契約金や取消不能な工事を約束しない。
開店約30日前・工事中	申請・現地確認の日を窓口と調整。工事、食品衛生責任者、衛生計画、スタッフ研修を準備。
開店約7日前〜開始前	客を入れずに通し練習。必要な許可・届出と施設の確認を済ませ、変更があれば窓口へ戻る。

3｜追加企画を試す枠・必要な予約数

項目	この例での判断
通常の枠と追加の対象	18時・19時各8人まで。4日分の通常枠で計12人分の空きがある場合だけ、追加の企画を検討。
追加費用と損益の境目	追加費用12,000円÷一人あたり1,000円＝12人。通常の見込みにない追加客12人が必要。
仮の予約締切・見送り	企画3日前に取消条件を含めて受付を締める。追加の有効予約が12人未満、または空きが不足なら見送る。

12件は1件＝1人で集計した場合。複数名の予約は人数に換算。これは企画の追加費用だけの境目で、開業資金や店舗全体の採算を示しません。

4｜契約・営業・企画を止める条件

段階	止める条件
契約・営業開始	許可・地域・設備に未確認がある、書面で貸主の承諾が取れない、借入が未確定で支払えない。
追加企画	特定の客への応対、酒の提供時刻、イベントの進行役、席の暗さを変えるなら、実施・告知前に所轄へ再相談。

コンカフェの開業計画書

お店の考え方・お客様・営業の形

例を見ながら、自分の店で予定する内容を書きます。決まっていない項目は、確認する相手と日付を残します。

1｜創業の動機と届けたい体験

項目	自分の計画を記入
なぜ始めるか	
誰に届けるか	
活かす経験・補う経験	

2｜メニュー・価格・選ばれる理由

商品・内容	価格・条件
基本セット：	
追加・選択商品：	
体験・選ばれる理由：	

基本セットと追加は分けて記入。税込／税抜の前提も商品ごとにそろえる。

3｜席・枠・営業時間・人員

項目	自分の計画を記入
営業日・席数	
予約と受け入れ	
1人目：	
2人目：	

4｜始める前に確認すること

確認すること	自分の計画を記入
集客と提供能力	
満席にしない判断	

コンカフェの開業計画書

開業費・調達と一人あたりの支出を見積もる

売上と支払いの根拠を書き、未確認の見積りには確認先と期限を添えてください。

1｜開業前に必要な資金と調達

項目	自分の計画を記入
契約・内装・設備・初回仕入	
遅延予備・営業開始時の手元	
合計と調達予定	

2｜一人あたりの収入・仕入と在庫

項目	自分の計画を記入
平均会計・変動費	
一人から残る金額	
仕入れの管理	

基本会計額−一人あたりの変動費＝固定費・返済を引く前に一人から残る額。

余白メモ

コンカフェの開業計画書

月の売上と返済後の残高を確かめる

通常月と下振れ月を比べます。返済や入金のずれも、実際の支払い・入金の日付に置き換えてください。

3｜月20日：通常月と売上が下がった月

項目	通常：　人／日	下振れ：　人／日
客数・売上		
変動費・差引		
固定費・返済前の差引		
毎月返済後の増減		
開店時の手元から月末残高		

入金日と支払日は別表に。返済の元金と利息、税、店主の生活費を区別する。

4｜日付で資金を確かめる

確認する日	自分の計画を記入
支払日・入金予定日	
見直す境目	

余白メモ

コンカフェの開業計画書

許可・準備日程・追加枠を始める条件

相談先と確認結果、営業開始までの日付を記入。相談や許可・融資の結果を保証するものではありません。

1｜契約前に、同じ営業計画と図面を見せる

相談先	持参するもの・確認事項
食品衛生の窓口	
所轄警察署	
貸主／建築・消防	

窓口・確認日・確認した営業案・未回答を別紙にも記録する。

2｜逆算して記録する日

目安・区切り	次に進む前に終えること
・契約前	
・工事中	
・営業開始前	

3｜追加企画を試す枠・必要な予約数

項目	自分の計画を記入
通常の枠と追加の対象	
追加費用と損益の境目	
仮の予約締切・見送り	

必要な追加客数＝追加費用÷一人あたりの差引額（切上げ）。通常客の予約と二重に数えない。

4｜契約・営業・企画を止める条件

段階	止める条件
契約・営業開始	
追加企画	

資料・出典（参照先）

関連記事：コンカフェ開業｜接客・営業時間・必要な許可・届出
警察庁：風営法の解釈運用基準（令和8年7月1日）
神戸市：飲食店等の営業許可の新規申請（所在地の例）
厚生労働省：アルバイトの労働条件
日本政策金融公庫：創業計画の書き方（公式様式の参照先）